

1st.stage



帯広市中央公園からロードレースがスタートした
The road race of Tour de Hokkaido 05 started from Obihiro Central Park.



十勝のシンボル十勝大橋をパレードする
Parade on the symbol of Tokachi, Tokachi Ohashi.

今大会最大とも評される重要な勝負どころを控えた注目の第1ステージは、帯広市中央公園からスタート。爽やかな青空のもと、最初のホットスポットをトップで通過したのは、マリウス・ヴィズニアック (NIPPO)。これに西谷泰治 (愛三工業)、米山一輝 (ラバネロ) が続き、白樺峠の上りに向かった。

白樺峠山頂では、新保光起 (愛三工業)、清水都貴 (ブリヂストン・アンカー)、柿沼章 (ミヤタ・スバル) を、後続から追ってきたエディ・ラッティ (NIPPO) が次々と抜き去りトップ通過、幌鹿峠でもエディ・ラッティが強さを見せ、2つの山岳ポイントを獲得した。山岳地帯を抜け、2度目のホットスポットは、岡崎和也 (NIPPO)、新保光起、エディ・ラッティの順で通過する。

その後、清水祐輔 (ブリヂストン・アンカー) の単独アタックから先頭集団、メイン集団ともに動きが活発化。170kmまでの長い上りでラッティが飛び出し独走、他の追従を許さない力強い走りで、そのままゴールを駆け抜けた。2位は岡崎和也、3位には清水都貴が続いた。ラッティはこれで、個人総合、山岳、ポイントの3賞を独占、団体総合もNIPPOがトップに立った。

剛脚が試される、 今大会最も注目の ステージ。



鹿追町のホットスポットで応援する児童
Hot Spot (Shikaoi Town).

37km地点、11名のトップ集団
Leading group at 37km point.

KOMを独走するラッティ (NIPPO)
RATTI (NIPPO) at the first KOM.



35km付近を走行する
At 35km point.



十勝平野を背に
Riders with Tokachi Plain on their back.

9/15 thu. 帯広市～阿寒町
第1ステージ ロードレース 179km